

新型コロナウイルス感染症

富山県感染症情報センター (富山県衛生研究所内) (0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

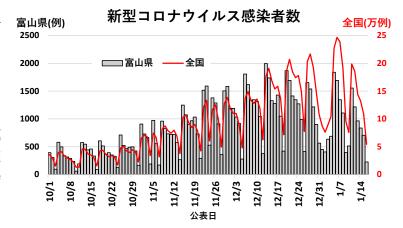
(令和 5 年第 2 週分·1月 9 日~1月 15 日)

《 インフォメーション 》

●新型コロナウイルス感染症

全国の新型コロナウイルス感染症の感染者数は10月下旬頃から年末年始にかけて増加しましたが、その後は減少に転じています(図;折れ線グラフ)。

県内の感染者数は 10 月下旬頃から 12 月中旬までは増加傾向で、それ以降は緩やかな減少傾向となっています(図;棒グラフ)。入院病床使用率は12月中旬から下旬にかけて一時70%を超える日がありましたが、その後減少傾向となり、1 月中旬に入ってからは 40%台



で推移しています。県内で12月中旬~下旬に採取された新型コロナウイルス陽性検体のゲノム解析結果では、オミクロンBA.5系統が依然としてその主体を占めていました。

現在、オミクロン対応2価ワクチンの接種が行われています。対象は1・2回目接種後3か月以上経過した12歳以上の方となっています。現在流行の中心であるオミクロンBA.5系統に対しては、従来型ワクチンを上回る効果が期待されます。

感染拡大防止のため、基本的な感染対策(手指消毒、正しいマスクの着用、十分な換気、対人距離を保つこと)の継続が必要です。県のホームページでは感染確認時から療養終了までの流れを掲載しています(https://www.pref.toyama.jp/120507/727kansen.html)。また、県は陽性者の療養期間及び濃厚接触者の待機期間の目安を計算することができるツールをホームページ上で公開しています(https://www.pref.toyama.jp/kurashi/kenkou/kenkou/covid-19/ryouyoukikan.html)。中学生以上64歳以下で重症化リスクが低い方は、富山県新型コロナ陽性者登録センターを活用することで、医療機関を受診せずに陽性者登録と自宅療養を行うことができますので、是非ともご活用ください(https://www.pref.toyama.jp/120507/20220829.html)。

《 全数報告の感染症 》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 6,014 件 (1/10(火)~1/16(月)公表分) 二類感染症 結核 2 件 (①②ともに 90 歳代、女性)

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件(第1週診断分:70歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県	内上位6疾患	定点あたりの数					
順位	疾病名	今週 (増減)	先週				
1位	インフルエンザ	6. 52 (↑)	3.56				
2位	感染性胃腸炎	5. 76 (↑)	2.72				
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41 (1)	0.31				
4位	RSウイルス感染症	0.31 (1)	0.17				
5位	流行性角結膜炎	0.29 (↑)	0.14				
6位	突発性発しん	0.28 (↑)	0. 24				

富山県感染症情報センターURL: https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/



〇感染症発生動向調査報告状況(令和5年第2週 令和5年1月9日~令和5年1月15日)

疾患	今週報告分(第2週)						累積報告数(令和5年第1週(1月2日)~)							
	新川	中部	高岡	砺波	富山市		計	新川	中部	高岡	砺波	富山市		計
結核				1	1		2				2	1		3
レジオネラ症										1		1		2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1				1
侵襲性肺炎球菌感染症									1					1
インフルエンザ	55	60	74	15	109		313	71	80	98	24	211		484
13370=37	7. 86	12. 00	5. 69	2. 14	6. 81		6. 52							
 RSウイルス感染症	1			6	2		9	2		2	6	4		14
				1. 50	0. 20		0. 31							
					1		3	4	1			1		6
	0. 50				0. 10									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			7		5					14		7		21
感染性胃腸炎		7						30	29	65	24	98		246
	3. 50	2. 33	6. 75	4. 00	7. 60		5. 76							
水痘			1				1			1		1		2
			0. 13											
手足口病			1		1					1		3		4
			0. 13		0. 10		0. 07							
伝染性紅斑					1		1					1		1
1-373 1-3-3-					0. 10		0.03					_		
突発性発しん					3		8	1	4	4	1	5		15
7475 (275)		1. 00	0. 25		0. 30		0. 28							
ヘルパンギーナ	1						1	2						2
	0. 25						0. 03							
流行性耳下腺炎										1				1
			2				2	1		2				3
流行性角結膜炎							0 29	1		L				0
 インフルエンザによる入院患者(※1)			2		1		3	1	1	2	3	4		11
	結核 レジオネラ症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 インフルエンザ RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 水痘 手足口病 伝染性紅斑 突発性発しん ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎 流行性角結膜炎 インフルエンザによる入院患者(※1)	結核 レジオネラ症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 インフルエンザ 55 7.86 RSウイルス感染症 1 0.25 咽頭結膜熱 2 0.50 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 14 3.50 水痘 5足口病 伝染性紅斑 突発性発しん	結核 レジオネラ症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 インフルエンザ 55 60 7.86 12.00 RSウイルス感染症 1 0.25 咽頭結膜熱 2 0.50 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 14 7 3.50 2.33 水痘 14 7 3.50 2.33 水痘 5 足口病 伝染性紅斑	無対 中部 高岡 結核 レジオネラ症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 インフルエンザ RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 水痘 手足口病 伝染性紅斑 突発性発しん ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎 流行性耳下腺炎 流行性角結膜炎 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 12.00 5.69 74 7.86 12.00 5.69 0.25 0.25 0.88 14 7 54 3.50 2.33 6.75 1 0.13 1 0.13 2 1.00 0.25 1 0.26 1 0.26 1 0.27 1 0.27 1 0.28 1 0.28	結核 1 中部 高岡 砺波 1 レジオネラ症 1 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 1 2.00 5.69 2.14 R S ウイルス感染症 1 6 0.25 1.50 個頭結膜熱 2 0.50 7 4 16 3.50 2.33 6.75 4.00 水痘 1 1 0.13 手足口病 0.13 年足口病 0.13 年足口病 0.13 年足口病 0.13 年 1 0.13 年 1 0.13 年 1 0.25 流行性耳下腺炎 流行性角結膜炎 1.00 7 0.25 流行性耳下腺炎 流行性角結膜炎 1.00 7 2 1.00 7	無核 新川 中部 高岡 砺波 富山市 結核 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	続核 新川 中部 高岡 砺波 富山市 は核 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	無核核 1 中部 高岡 福波 富山市 計 2 2 レジオネラ症	特技	### 特技	横枝	勝移	特別 中部 高岡 砺波 富山市 計 新川 中部 高岡 砺波 富山市 計	勝利 中部 高岡 極波 富山市 計 野川 中部 高岡 極波 富山市 計 別川 中部 高岡 極波 富山市 は 1 1 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

分類	1月10日(火)~1月16日(月)公表分						累積報告数(令和4年9月27日~)医療機関の所在地ベース								
刀規	疾患	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計
新型インフルエンザ等 感染症 新型コロナウイルス感染	※ 2	625	324	1, 357	709	2, 056	943 ^{**3}	6, 014	10, 578	5, 685	23, 356	10, 898	31, 919	9, 076 ^{※3}	91, 512
	新型コロナウイルス感染症	※2 県報道発表資料の公表日に基づく集計 ※3 陽性者登録センタ-						※3 陽性者登録センター分 累積報告数(令和2年3月30日~令和4年9月26日)感染者居住地/							
			居住地非公		八米川	№ 例上 日	豆啄Cングー。	<i>,</i> ,	11, 484	10, 019	37, 643	13, 404	54, 143	506 ^{※4}	127, 199

(0766-56-8143 ウイルス部)

インフルエンザ定点における患者診断状況

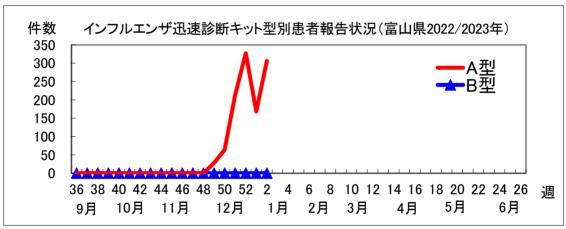
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ 迅速診断キットの診断数を集計したものです。 現在、下の表によると、A型が97.8%となっています。

第2调(1	/9~1/	(15)	・富山県	6.52人/定点	
20 6 X2 \ I	/ U I/	10/	. BU X	ししとノン/ AE 派	

(単位:件)

厚生センター・	報告数/定点数	迅速診	断キット	その他 ^{※2}	 合計	
保健所名	拟口数/ 足点数	A型	B型			
新川	4 /7	55	0	0	55	
中部	4 /5	56	0	4	60	
高岡	13 /13	74	0	0	74	
砺波	5 /7	15	0	0	15	
富山市	13 /16	106	0	3	109	
富山県	39 /48 *1	306	0	7	313	
富山県累記	十(2022年36週~)	1,108	0	19	1,127	

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が39か所あったことを示します。 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診 断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





インフルエンザ情報

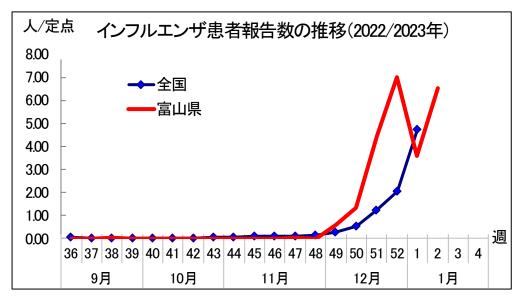


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 2 週 (1/9~1/15): 富山県 6.52 人/定点

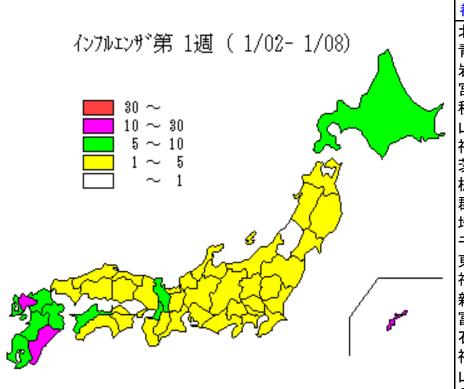
新川 HC (7.86)、中部 HC (12.00)、高岡 HC (5.69)、砺波 HC (2.14)、富山市 HC (6.81)

県内では第50週から流 行期に入っています。今 後しばらくは流行が継続 すると予測されます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第1週(1/2~1/8)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 4.73 人となり、前週の 2.13 人より増加しました。 45 都道府県で前週より増加しています。



都道府県	人/定点
化海道	5.49
青森県	3.27
台手県	1.70
宮城県	1.80
妙田県	1.20
山形県	0.77
冨島県	2.66
芡城県	4.41
栃木県	2.36
詳馬県	3.01
奇玉県	4.31
千葉県	4.71
東京都	3.60
伸奈川県	3.96
新潟県	2.33
富山県	3.56
石川県	4.27
福井県	3.30
山梨県	3.27
長野県	3.25
皮阜県	2.70
静岡県	3.19
愛知県	4.65
三重県	4.41

都道府県	人/定点
滋賀県	3.25
京都府	5.45
大阪府	8.26
兵庫県	4.11
奈良県	3.96
和歌山県	4.29
鳥取県	4.17
島根県	2.11
岡山県	3.65
広島県	2.40
山口県	3.05
徳島県	4.65
香川県	3.64
愛媛県	7.39
高知県	2.87
福岡県	9.62
佐賀県	10.08
長崎県	7.11
熊本県	5.46
大分県	5.14
宮崎県	12.37
鹿児島県	6.58
沖縄県	17.77
全国	4.73

〇感染症発生動向調査報告状況(令和4年12月分)

		1 2 月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症	性器クラミジア感染症		2			7	9		4	20		86	110
(定点把握)	に破りプミング心未延		2. 00			1. 75	0. 90						
	 性器ヘルペスウイルス感染症					9	9		3	5	5	62	75
	性格ベルベス・ノイルス総条症					2. 25	0. 90						
月報対象疾患	尖圭コンジローマ			1	2		3			3	13	9	25
(下段は定点当たり				0. 33	2. 00		0. 30						
の患者数を示す)	淋菌感染症					4	4		1	1		25	27
						1. 00	0. 40						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	2	1	1	6	12	21	15	28	26	116	206
	アナンサン前に黄色ノドラ球菌総末症	2. 00	2. 00	1.00	1.00	6. 00	2. 40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1		3	4	5		3		9	17
	ハーノブノ側 圧脚火 外困 心未進			1. 00		3. 00	0. 80						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。